

美術科学習指導案

- 1 学年・組 第3学年3組
- 2 場 所 第1美術室
- 3 題材名 和菓子で表そう和の心
- 4 教材名 「自然の恵みと造形」(『美術2・3上』 日本文教出版)

5 題材設定の理由

(1)題材観

本題材は、中学校学習指導要領美術第2学年及び第3学年「A表現」の「(2)ウ使用する者の気持ちや機能、夢や想像、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。」、「(3)ア材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。」及び「〔共通事項〕ア形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。」をねらいとして設定したものである。

本題材では、和菓子の造形を取り上げる。和菓子の造形は、日本の職人が伝統を受け継いできたもので、形や色彩、材料等の工夫によって季節感の表現やおもてなしの気持ちなど日本の美意識を生かして作られている。本題材の学習を通して、使用する者の気持ちを考えた表現や日本の美意識を生かした表現の力を高めることが期待できる。

(2)生徒観

事前のアンケート調査で、「デザインや工芸の表現では、使用する人の気持ちを考えて色や形を考えて構想している」という設問に肯定的な回答をした生徒は88.6%であった。多くの生徒が作品の使用目的を考えて構想することを意識できている。「材料や用具などの特性を生かして表現している」という設問に肯定的な回答をした生徒は88.6%であった。これらのことから生徒は、使用目的や材料の特質を生かして構想しようとする意識が高いことがうかがえる。

生徒は、2年次に配色の工夫や和の美術(風神雷神図屏風、琳派、ふすまや掛け軸、絵巻物など)の鑑賞、堆朱工芸を学習している。また、家庭科の会食で和菓子を作った生徒や、職場体験学習の際、和菓子屋で練り切りを作らせていただいた生徒、茶華道部で日頃からお茶を嗜んでいる生徒もいる。事前のアンケート調査で「日本の美術は好きですか?」という問いに対して肯定的な回答をした生徒は71.4%であった。理由もさまざま、日本の美術に親しみや好感をもっている生徒が多い。

また、「言葉やスケッチを描くことで、『このような作品にしよう』というイメージをはっきりさせることができる」という設問に肯定的な回答をした生徒は88.6%であった。また「課題についての資料(図鑑や本など)は、発想したり構想を練ったりするのに役に立つ」、「作品の題名や解説を書くことは、自分が表したいイメージや表現の工夫を説明するのに役立つ」、「友だちの作品の題名や解説は、友だちの表現のよさや工夫を見つけるのに役立つ」という問いに肯定的な回答をした生徒は94.3%であった。以上のことから、構想の際に資料を活用したり、言葉やスケッチを描いたりすることが作品のイメージを明確にするために役立つと感じている生徒が多い。さらに、作品についての解説を描くことが自分の表現や他者の表現の理解を深めるのに役立つと感じている生徒も多いことがうかがえる。

(3)指導観

日本の美術に関心や親しみをもっている生徒が多いことを生かして、導入で和菓子の鑑賞を行い、和菓子の鑑賞や既習事項の振り返りを通して季節感や日本の美意識に気付かせたりする。構想を練る時には日本の四季や行事、衣食住などに関する資料を活用できるようにすることで、日本の四季や自然物などのイメージをもとに、単純化したり、色や形、材料などの感情の効果

を利用したりと工夫のある発想や構想をさせる。また、ワークシートに言葉やアイデアスケッチを描きながら考えさせることで、自分のイメージを明確にさせる。制作の途中には、4人グループや学級で交流の場を設け、多様な見方や考え方に触れさせることで自分の構想や作品を客観的に見直し、他者の共感が得られるような表現の工夫をさせる。作品完成後は解説を書かせ、自分のイメージや表現の工夫について説明させる。鑑賞では、その作品解説を利用しながら、他者の表現について理解を深めさせる。

6 題材の目標

和菓子の形や色彩，名称などに表された表現に関心を持ち，オリジナルの和菓子の制作について意欲的に構想を練ろうとしたり，表現方法を工夫したりしようとする。

【美術への関心・意欲・態度】

季節感や配色，材料のもつ特性，造形的な美しさなどを総合的に考え，構想を練ることができる。

【A表現(2)ウ】

形や色彩，材料や用具の特性などを生かし，自分の構想に合うように表現方法を工夫して表現することができる。

【A表現(3)ア】

和菓子に込められた日本人の自然に対する美意識を感じ取るとともに，造形的なよさや美しさを味わうことができる。

【B鑑賞(1)イ】

7 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> 和菓子の形や色彩，名称などに表された表現に関心を持ち，オリジナルの和菓子の制作について意欲的に構想を練ろうとしたり，表現方法を工夫したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節感や配色，材料のもつ特性，造形的な美しさなどを総合的に考え，構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩，材料や用具の特性などを生かして，自分の構想に合うように表現方法を工夫して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 和菓子に込められた日本人の自然に対する美意識を感じ取るとともに，造形的なよさや美しさを味わっている。

8 指導と評価の計画(全7時間)

太字，吹き出しは学校図書館の機能の活用

次	時	学習内容	評価				評価方法	
			関	発	技	鑑		評価規準
一	1	和菓子を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> 和菓子の形や色彩，材料の質感，名称などに注目し，作り手の思いや美意識を感じ取る。 					<ul style="list-style-type: none"> 和菓子の形や色彩，名称などに表された表現に関心をもっている。 和菓子に表された表現のよさや美しさなどを捉え，具体的にワークシートに記録し，意見を述べている。 	行動観察 ワークシート
二	2・3	オリジナルの和菓子の構想を練る。 <ul style="list-style-type: none"> 季節感や配色，材料のもつ特性，造形的な美しさなどを総合的に考え，構想を練る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 日本の季節や行事，衣食住など日本文化にまつわる書籍を収集して紹介する。 </div>					<ul style="list-style-type: none"> 自分の表したいイメージを形や色彩などの視点から具体化し，アイデアスケッチと言葉で表現している。 オリジナルの和菓子の制作について意欲的に構想を練ろうとしている。 	行動観察 ワークシート

	4・5 (本時) ・6	<p>オリジナルの和菓子をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩, 材料や用具の特性などを生かして, 自分の構想に合うように表現方法を工夫して表現する。 					<ul style="list-style-type: none"> 自分の構想を表現するために, 形や色彩を工夫したり, 用具を効果的に使ったりしている。 オリジナルの和菓子の制作について表現方法を工夫している。 	行動観察 作品
三	7	<p>互いの作品を鑑賞する。 互いの作品を鑑賞し合い, 感じ取ったことについて交流する。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 自分や友人の作品のよさや美しさなどをとらえ, 具体的に記録し, 意見を述べている。 作品の形や色彩, 名称などに表された表現に関心をもっている。 	行動観察 ワークシート

9 学校図書館の機能の活用

生徒が自ら学ぶ学習・情報センターとしての機能

- 季節感を表すための構想を練るため, 必要に応じて, 日本の季節や行事などについて参考となる資料を見て考える。(第2・3時)
- 自分の構想をより効果的に表現するため, 必要に応じて資料を用い, 配色の効果などについて調べる。(第4・5・6時)

10 本時の学習

(1) 本時の目標

形や色彩, 材料や用具の特性などを生かして, 自分の構想に合うように表現方法を工夫して表現することができる。

(2) 本時の評価規準

オリジナルの和菓子の制作について意欲的に表現方法を工夫して表現しようとしている。

【美術への関心・意欲・態度】

自分の構想を表現するために, 形や色彩を工夫したり, 用具を効果的に使ったりしている。

【創造的な技能】

(3) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」状況と判断した生徒への手だて)	評価規準と評価方法
導入	1 本時の目標を知る。		
	<p>形や色, 用具の使い方など自分の意図に合った表現方法を工夫して, オリジナルの和菓子を作ろう。</p>		
	2 自分の構想を確認する。	ワークシートを見て, 自分の構想を確認させる。	

展開	3 オリジナル和菓子をつくる。	<p>構想に合うように形や色彩、用具の使い方を工夫するよう指導する。必要に応じて、いつでも配色の効果や和菓子の作り方に関する資料を活用できるよう準備する。</p> <p>用具の使い方や樹脂粘土の特性が分かるような掲示をする。</p> <p>ワークシートをもとに対話をしながら個別に指導し、表現の工夫をさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルの和菓子の制作について意欲的に表現方法を工夫して表現しようとしている。(美術への関心・意欲・態度)【行動観察】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">言語活動の充実</div> <p>4 友だちと意見交流する。</p>	<p>自分の構想に合った工夫という視点で意見交換ができるように指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の構想を表現するために、形や色彩を工夫したり、用具を効果的に使ったりしている。(創造的な技能)【行動観察、作品】
まとめ	5 次時の見通しをもつ。	<p>本時の意見交換で考えたことを次時の表現活動に生かすよう伝える。次時で作品を完成させ、展示の工夫も考えさせることを予告する。</p>	

本時の主な言語活動は、意見交流をすることである。

11 本題材で使用する主な書籍

書名	著者	出版社	出版年
江戸時代の和菓子デザイン	中山 圭子/著	ポプラ社	2011
京都のおいしい和菓子	コロナ・ブックス編集部/編	平凡社	1998
スーパー・パティシエ辻口博啓の新味和菓子	辻口 博啓/著	ソニー・マガジズ	2005
和菓子と日本茶の教科書	新星出版社編集部/編	新星出版社	2009
和菓子の技術		旭屋出版	2008
和菓子風土記	鈴木 晋一/監修	平凡社	2005
東京・和菓子手帖	渡辺 有子/著	山と溪谷社	2008
ミニチュアフード Book		ブティック社	2008
カラーイメージチャート	南雲 治嘉/著	グラフィック社	1999
茶の湯菓子	鈴木/宗康/ほか文	淡交社	1999
茶席で話題の銘菓	千 和加子/指導	世界文化社	2001
和菓子の四季		淡交社	2003
おもてなし和菓子を手づくりで。	金塚 晴子著	小学館	2003
キッチンでつくるお祝いの茶席菓子	金塚 晴子著	淡交社	2004
わくわくほっこり和菓子図鑑	君野 倫子著	二見書房	2012
日本の伝統色	長崎 巖/監修	ナツメ社	2008
配色イメージブック	日本カラーデザイン研究所/編	講談社	1984
配色バイブル和テイスト	早坂 優子/著	視覚デザイン研究所	2005
日本の配色		ピエ・ブックス	2009
和風カラーチャート	南雲 治嘉著	グラフィック社	2006